



学校法人日本女子大学
理事長 今市 涼子

Ryoko Imaichi



「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の教育を今に伝える 2023年に国際文化学部、24年建築デザイン学部(仮称・構想中)を新設

1901年(明治34年)の創立から120年以上にわたり、女子高等教育に取り組んできた学校法人日本女子大学。幼稚園から大学、大学院、通信教育、リカレント教育まで生涯教育の実践と、学部新設などについて、理事長の今市 涼子氏が語った。

創立から120年を超える 女子高等教育のさきがけ

日本における女子高等教育のさきがけとして、1901年に創立されたのが、日本女子大学(現日本女子大学)だ。明治半ば、米国で女子教育を研究した教育者 成瀬仁蔵は、帰国後、本格的な女子高等教育機関として、日本女子大学の設立に尽力した。

「成瀬は、女子を人として育てることが、国にとって大きな力になると考えました。帰国後、女子の高等教育機関をつくるため、女子教育の有用性を説きながら賛同者を探し、資金集めに奔走しました。創立委員長の大隈重信をはじめ、政界からは伊藤博文、財界では渋沢栄一、広岡浅子ら、政財界から約800人の支援を受けて創立したのが本学です」(今市氏)。

その教育理念は、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三綱領だ。

「『信念徹底』とは、一人ひとりが自分が何

ものかを追求し、固有性を見極めることが大切であり、それが自分の信念になるという考えです。『信念徹底』の過程を通じて、自発的に努力することで、新しい発見につながるのが『自発創生』です。また、社会との関係を深めながら人を育てていくのが『共同奉仕』です。これは現代にも通じる三綱領として大切にしています」(今市氏)

成瀬仁蔵は自然科学にも造詣が深く、女子が自然科学を学ぶことは、社会の発展に役立つと考え、自然科学教育を重視したという。

「自然科学を勉強すれば、当時の女子が束縛されていた心、経済、物質の束縛から自由になれると考えたようです」(今市氏)

幼稚園から「自学自動」の教育 理系と文系を問わず基礎を習得

同学園は現在も建学の精神を受け継ぎ、幼稚園から大学、大学院、通信教育、リカレント教育課程を通じ、生涯教育を行っている。

「今でこそ、生涯教育は当たり前のようには言われますが、成瀬は120年前から生涯教育の重要性を訴えていました。本学が一貫教育において大切にしているのは『STEAM (Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics) 教育』です。科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学を重視する、米国で生まれた概念です。本学では、理系と文系を分けるのではなく、両者の基礎を勉強すること、「文理融合」を学びの柱にしています。何がどうなっているかを自分できちんと理解して、問題を見つけて解決策を探るためには、理系と文系を分けていては答えを見いだせないのです」(今市氏)

なかでも重点を置いているのは、成瀬が唱えた「自学自動」の教育方針だ。

「これは、自ら学び、自ら動くという考えです。幼稚園教育から、遊びながらまわりを見つめ、いろいろな現象を自分の頭でどうしてなのか考えさせます。それを自分の中でまとめ、発表することで、STEAMの基礎が養われていくの



写真中央が渋沢栄一、右隣が創立者 成瀬仁蔵



顕微鏡を覗き込む幼稚園児 (STEAM教育)



卒業生でもある世界的建築家の妹島和世氏がグランドデザインを手掛けた百二十年館

です。小学校には通信簿がありません。教科ごとの評価にとらわれることなく『自学自動』を実践し、自己の力を育むことを大切にしているからであり、さらに学びが深まる中学校でも同じです」(今市氏)

高校では、理系と文系を分けないカリキュラムで構成がなされている。

「文理を問わず基礎は横断的に多くの科目を全員必修にしています。さまざまな分野の基本的な力が身につけているため、将来どのような方向に進んだとしても、力が発揮できます。また、高大連携のカリキュラムも設け、幅広く学ぶことができます」(今市氏)

女子大学の良さ 日本女子大学の果たす役割

大学には現在、家政学部、文学部、人間社会学部、理学部、さらに2023年4月に新設の国際文化学部と、合計5学部15学科があり、

約6,200人の学生が学んでいる。

「女子大学は学生が女性だけですから、まったく付度のない学生生活を送ることができます。たとえば、男子学生がいると異性に対してよく見られたい、自分の行動が魅力的に映らないのではないかとという気持ちが働きます。女子大学は女性だけの自由な世界で自分を見極めることができるのです。なんの束縛もなく、自分を高め、成長することができます。社会に出てからは、女性に対するアンコンシャス・バイアスに気付くことになります。女子大学で学んだ経験は、社会に出てから自分を生かせる力を育むことにもつながります。女子大学の存在には、大きな意義があると考えています」(今市氏)

女子大学の魅力をより高めるため、新たな学部も構想中だ。

「STEAM教育を学んだ優秀な人材を社会に輩出したいと考えています。新設した国際文化学部をはじめ、グローバル教育にも力を入れており、卒業生には国の枠を超えた活躍を

期待しています。さらには家政学と工学の複合分野の学部として2024年に建築デザイン学部(仮称・構想中)を新設します」(今市氏)

現在、大学で学んでいる学生はこれからの時代を担っていく存在だ。日本女子大学はどのような役割を果たしていくのだろうか。

「今はVUCAの時代と呼ばれるように、先行きが不透明で、価値観も急速に変化しています。本学はこれからの時代に向けて、新しい価値を創造する人材を育てたいと思っています。差別のない、アンコンシャス・バイアスのない自由な社会で個々が成長し続けられる世界が理想です」(今市氏)

今後はSTEAM教育をさらに強化して、国際的にも活躍できる人材を育てていく考えだ。また、卒業後、いつでも戻って勉強でき、生涯を通じて伴走できる学園を目指していく。

多様な価値観が広がるなかで、同大学の存在価値はさらに高まり、大きな役割を果たしていくことだろう。



学校法人日本女子大学

【住所】(目白キャンパス) 〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

(西生田キャンパス) 〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1

【電話】03-3943-3131 【HP】<https://www.jwu.ac.jp> ●設立:1901年 ●代表者:理事長 今市 涼子

●2022年度学生・生徒・児童数/大学:6509名(大学院含む)、大学通信教育課程:1666名、附属高等学校:1132名、附属中学校:753名、附属豊明小学校:681名、附属豊明幼稚園:238名

●2022年度教員数/大学:251名、附属高等学校:51名、附属中学校:36名、附属豊明小学校:34名、附属豊明幼稚園:14名

BS12 トゥエルビ

BS12 TwellIV [全国放送]

4月16日(日)
15:30~放送

サンテレビ

サンテレビ [兵庫県・大阪府全域]

4月17日(月)
22:00~放送



一人の思いが世界を変える。
<https://kenja.jp/>

賢者の選択

Webサイトでも視聴できます

企画/矢動丸プロジェクト